

島根県益田市農業委員会 西川 友史 会長

島根県益田市農業委員会の西川 友史 会長に、益田市における農地バンクと農業委員会が連携した農地利用の最適化の推進活動についてお話を伺いました。

●益田市農業委員会の状況

農業委員16人、農地利用最適化推進委員24名の合計40名で活動しています。

令和2年7月の改選により5名の女性農業委員が就任し、県内で初めて農業委員に占める女性の割合が30%以上となりました。

女性農業委員の視点から、農業委員会だよりに料理レシピを掲載する取組を始めており、広報活動以外にも今後、活動を展開します。



●農地中間管理機構との連携による農地集積の推進

市内を7ブロックに分けて、ブロックごとに、農業委員2～4名、推進委員3～5名を設置しています。ベテランの農業委員をリーダーとしてブロックごとの活動を推進しています。

総会には推進委員も出席して、許認可業務だけでなく、農地集積などについても活発な意見交換がされています。

また、総会の前後では、農業委員、推進委員、農地バンク（農地中間管理機構）の農地集積相談員が農地のマッチングについて情報交換を行うなど、積極的な活動が行われています。

●利用権設定終期一覧表の活用した推進活動

農業委員会では、この先1年間の農地の「利用権設定終期一覧表」を農業委員、推進委員、農地集積相談員に配布しています。

委員が把握している農地所有者の意向を農地集積相談員と共有し、農地バンクへの集積を推進しています。



活発な意見が交わされるブロック会議

益田市農業を次世代に繋げるため、農業委員、農地利用最適化推進委員の熱意が地域の積極的な取り組みに繋がるよう、益々のご活躍を期待しています！